



小川 隆史議員
企画総務消防常任委員会

Q 令和2年度から4年度の清掃センターの修繕費は

A 18億1千943万円



その他の質問

- ・地域コミュニティについて
- ・彦根市スポーツ・文化交流センターについて

Q 清掃センターの喫緊3か年の修繕費は。

A 令和2年度2億6千536万円、令和3年度2億9千778万円、令和4年度8億4千150万円。

Q ごみ減量の効果が大い、生ごみ回収を行うことが、現ごみ処理施設延命を図り、修繕費を抑えられることであり、市長も必要性を言及されているができないか。

A 本市での導入は難しい。

Q 現在の清掃センター延命のため、三キリ（水切り、食べきり、使いきり）運動以外の新たなごみ減量の具体的な取り組み内容は。

A 現時点ではない。



▲生ごみ処理のためのボカシづくり



林 利幸議員
市民産業建設常任委員会

Q 専門職大学の設置に向け課題は

A 様々あるが、一番の課題は当該土地の市街化区域への編入手続である



その他の質問

- ・石寺稲里線道路改良事業について
- ・芹橋彦富線(彦富工区)、稲部本庄線(稲部工区)道路改良事業について

Q 学校法人吉田学園さんと締結した基本合意内容は。

A 映画産業に従事する人材の育成および映画産業による地域活性化を目的として専門職大学の設置に向け連携して進めていく事で合意した。その内容は、設置場所はJ R 稲枝駅西側地区を想定すること、1学部1学科3専攻科で1学年100名、4学年で400名規模を想定すること、吉田学園に対し本市は適切な支援を行うことなどである。

Q 設置に向け今後の課題は。

A まずは県と協議しながら市街化区域への編入手続がスムーズにいくよう調整していくことが必要で用地買収に向け地権者との協議も課題。また吉田学園さんは文科省の認可申請をクリアされなければならない。



▲稲枝駅西側の専門職大学設置予定場所の現状



八橋 龍二議員
福祉病院教育常任委員会

Q 2025年の国スポ・障スポに向けての彦根市の方針は

A 両大会を一体的に開催し障害者理解を深め市全体で連帯感を高める



その他の質問

- ・プロシードアリーナ HIKONEの利用について
- ・障害者雇用問題（就労継続支援について）

Q 2025年滋賀国スポ・障スポが行われるが市の方針は。

A 彦根市実行委員会において「開催基本方針」を策定しており、競技力の向上やスポーツの普及・振興を図ることで全ての市民がより身近にスポーツを楽しみ、健康で心豊かな生活を送ること、また両大会を一体的に開催することで、障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加の推進に寄与する大会とすること、市民総参加で心のもったおもてなしや情報発信に取り組み、市全体で連帯感を高めることを目指す。

このような方針に基づき選手ファーストの視点に立ち、両大会に出場される選手を温かくお迎えするとともに、日頃の練習成果を存分に発揮頂けるよう競技会の円滑な運営に努めてまいります。



▲プロシードアリーナHIKONE



中野 正剛議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市に不登校特例校を設置しては

A 不登校特例校についての研究を今後も行う



その他の質問

- ・彦根市の水道行政について
- ・もっとみんなが使いやすい彦根市のバスに
- ・彦根市職員の子育て支援について

Q 彦根市の小中学生の不登校の現状は。

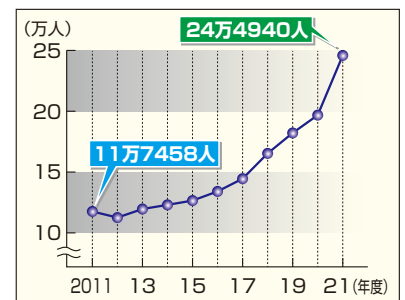
A 本市における令和3年度の不登校児童生徒数は314人、平成24年度は147人なので、10年前に比べると2倍を超えており、大きく増加している。

Q 彦根市に不登校特例校ができる可能性は。

A 本市における不登校児童生徒の増加は喫緊の課題であるが、不登校特例校の設置については、新しく学校を設置するための用地確保、校舎整備や教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家配置のための財源確保の問題があり、現時点では難しい。

Q 彦根市に不登校特例校を設置しては。

A 全ての子どもが自分に合った学びを選択できるように多様な教育の機会を確保していくことは大変重要であると認識しているので、不登校特例校についての研究を今後も行っていきたい。



▲不登校の小中学生の推移





戸崎 克司議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根城跡に生息するシラサギ
およびコロニーへの対策は

A 彦根城跡だけでなく、より広域の
課題として捉える必要がある



その他の質問

- ・彦根お城トンネル開通後の、渋滞・事故防止対策について
- ・旧ひこね燦ぱれす出入口交差点に信号機設置は可能か

Q 彦根城内に生息するシラサギおよびコロニーの数は。

A 彦根城西の丸三重櫓西側の山崎曲輪付近に数年前から数多くのシラサギが生息し、巣も多数あると確認している。

Q 彦根城世界遺産登録に向けての影響は。

A シラサギのふん害による樹木の衰退や枯死は、城山の景観保全の上で彦根城世界遺産登録に影響があるものと認識している。

Q 増え続けるシラサギおよびコロニーへの対策は。

A 樹木の伐採や枝払い、鳥の嫌がる音を発する装置設置、議員ご指摘のテグスや忌避シート設置等の対策も検討できる。

彦根城跡だけでは局地的かつ一時的な対応となるため、今後は広域での課題として捉える必要がある。



▲シラサギ 金亀公園より

新議員研修会を開催しました



今回新たに市議会議員に就任された議員を対象に、5月1日および8日、9日に研修会を実施いたしました。

また、5月22日には、市内の市有各施設の見学を行いました。